

---

# ファンタジー・サイエンス

秋野 紅葉

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ファンタジー・サイエンス

### 【Nコード】

N3239N

### 【作者名】

秋野 紅葉

### 【あらすじ】

ソウイチはただ平穩に暮らしていた。周りにはちよつと……いや、かなり変わった友達がいて多少なりともトラブルに巻き込まれているくらいだった。そんな平凡(?)な日々が、かかってきた電話に出た時から非日常に変わっていった。何でもアリの物語。

## 回想

ソウイチはその場から一步も動けずにいた。

『データベースの人物と完全に一致』

「どうやら本物のようね。こんな辺境の地を担当にされたときは、もうあきらめていたのに……。」

目の前の現実を認めたくなくてただ茫然と立ち尽くしていた。

「逃げようとしないう方が良いわよ?」

自分はただ平穩に暮らしたいだけだったのに……

「だって、逃げたら無関係な人が沢山死ぬんだからね。」

なにがいけなかったんだろうか……。

「確か……生命維持出来てれば手足は無くても良かったのよね?」

『はい。データベースにも記録が残っています』

きつと、あの時の電話が全ての始まりだったのだらう……

「恨むなら、あなたの父親を恨んでね。」

凶器が今まさに自分に振り下ろされようとしていた。

そう……あの時の父親からの電話が……。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3239n/>

---

ファンタジー・サイエンス

2010年10月8日22時46分発行